

6月号

## 学校行事を考える

校長 桐ヶ谷 淳子

# 学校 だより



大和市立草柳小学校  
大和中央3-6-1

5月は行事がたくさんありました。13、14日は6年生が日光に修学旅行に行きました。当日は警報級の雨が予想され、バスの移動の際はかなり雨脚が激しいときがありました。でも、昼食場所についた時には雨は上がり、東照宮もほとんど傘の出番はありませんでした。華厳の滝の見学もでき、1日目の行程はほぼ予定通りでした。2日目の朝は大雨でしたが、旅館を出発する頃には雨が上がり、子どもたちは湯滝の見学や江戸村での班活動などを楽しんでいました。

3年生は「こどもの国」に行きました。この2年間、遠足は徒歩でしたので、観光バスでの遠足は入学以来初めてです。こども遊牧場で食べたソフトクリームの味は、格別だったと思います。

2年生の遠足は「新江ノ島水族館」です。この日は団体客が多く、施設内はかなり込み合っていました。イルカのショーやたくさんの海の生き物を見学しました。

そして4年生は「宮ヶ瀬ダム」に行きました。この日も天気は朝から大荒れで、雨プログラムに変更することを考えましたが、現地に到着する頃には雨が小やみになり、楽しみのお弁当も屋外で食べることができたようです。

コロナ禍で学校行事の中止や変更が続き、この2年間にあらためて行事の意味やその効果を実感してきました。今回もお弁当の黙食や、バス内での会話を控えるためのビデオ視聴など、コロナ前との違いはありましたが、友だちの新たな一面に気付いたり、クラスの仲間意識が強くなったりと、行事を通して学んだことを、今後の学校生活にかかしてほしいと心から願っています。

先週末は真夏を思わせるような陽気になり、ますます熱中症の注意が必要になってきました。先日「熱中症予防と感染対策について(お願い)」という教育委員会発出のお便りを配付し、31日の朝会で子どもたちに説明をしました。

通知では、1)十分な身体距離(概ね2.0m)が確保できる場合、2)登下校等で、熱中症などの健康被害が発生するおそれがある場合、3)体育の授業や部活動等運動を行う場合は、マスクを着用しなくてよい場合と記載されています。これを受けて、引き続き感染予防のための対策をしながらも、熱中症の危険がある場合にはマスクを外す指導を行っていきます。特に体育の授業や業間休み等で体を動かす場面では、マスクを外すよう声掛けを行います。

マスクの着用については、各ご家庭の事情や考え方等さまざまであると思いますが、子どもの身体の安全を第一に、またマスクをする、しないことが差別等につながらないように注意深く指導してまいります。

ただ、コロナについては、まだ収束の見通しが立っておらず、感染防止対策は続けなくてはなりません。手洗いや手指の消毒、黙食や教室でのマスク着用および教室の換気等をしっかり行ってまいります。引き続き検温や健康観察チェックシートの提出等にご協力をお願いいたします。

6月は5年生が「愛川ふれあいの村」にキャンプに行きます。1泊2日のキャンプで、普段の学校生活では得られない体験ができることを期待しています。